

愛産研 ニュース

愛産研ニュース
平成 23 年 4 月 27 日発行
No.109

編集・発行
愛知県産業技術研究所 管理部
〒448-0013
愛知県刈谷市恩田町一丁目 157 番地 1
TEL 0566(24)1841・FAX 0566(22)8033
URL <http://www.aichi-inst.jp/>
E-mail info@aichi-inst.jp

4月号
2011

今月の内容 **特集：愛知県産業技術研究所 平成 23 年度事業計画**
運用方針 / 研究開発業務 / 技術支援業務 / 依頼業務

ごあいさつ

この度、平成 23 年度 4 月付けをもって、産業技術研究所の所長として着任いたしました。新年度を迎えご挨拶申し上げます。

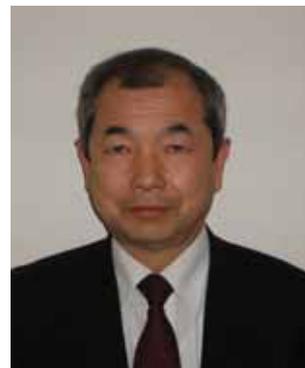
まず、本年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

この震災によって、多くの企業が長期の操業停止を余儀なくされており、また、原子力発電所の事故は、計画停電を始めこれまでに考えられない事態を呈し、多くの皆様が不安を抱え過ごされてきたことと思います。しかしながら、4 月に入り、操業停止していた工場も稼働し始めるなど、徐々にではありますが復興に向けたスタートが切られております。被災地の一刻も早い復興を心から願っております。

さて、本県では、次世代モノづくり技術の創造・発信の拠点となる「知の拠点」を本年度後半に供用開始する予定です。ナノスケールの技術が要求される次世代ものづくりなど、「知の拠点」での開発技術を中小企業の皆様に普及するとともに、実践的な技術支援をより効果的に推進していくことが、愛知の産業技術の振興を担う当研究所の大きな使命と考えております。そこで、当研究所では、本年度から刈谷本部の機能を充実することとし、ワンストップサービスや各種研修による企業人材育成を業務とする総合技術支援・人材育成室を新設するとともに、環境材料や自動車関連技術部門を強化し、これまでの室名も化学材料室、金属材料室、環境材料室、自動車・機械技術室と一新しました。さらに地域の各センターにおきましても、これまで以上にご利用いただけるよう、一部機能の集約や技術支援の連携強化を図るとともに、わかりやすい室名に変更いたしました。

日本国民の皆様が、東日本大震災の被災者の方を応援する中で、愛知県産業技術研究所では、日々の活動を着実に実行し、地域の経済活動を支え活発化していくことが、一刻も早い復興に資するものと信じております。

ものづくりの DNA が脈々と流れるこの愛知の地から、再生日本の出発点になるよう、地域企業の皆様とともに歩みを重ねていく所存です。「技術相談・指導、依頼分析、研究、情報発信、技術人材育成により本県モノづくり産業の技術課題の解決策を提供する」この使命を再認識し、企業の皆様に信頼され、お役にたてるよう努めてまいりますので、なお一層のご利用をお願い申し上げます。



愛知県産業技術研究所長 高須 恭夫